





平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立網野高等学校 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	1～3年 体操部と医療・福祉系進学希望者 (1年生男6女5 2年生男1女2 3年生男5女9)
3 展開の形式	本校体操部及び医療・福祉系進学希望者が地域の保育所、小学校、福祉施設に出向き、地域の小・中学生、高齢者を対象に演技披露及び体操教室・運動補助を行う。
4 目標 (ねらい)	(1) スポーツ交流を通して異世代者への理解を深める。 (2) 高校卒業後、ほとんどの生徒が地元を離れて進学をする状況の中で、地域社会の現状を考える機会を掴るとともに、将来的に丹後地域の維持・発展に貢献できる人材を育成する。 (3) 全国平均よりも高齢化が進み、長寿者が多い丹後地域に活力を与え、スポーツ文化の広がりに寄与する人材を育てる。
5 取組内容	<p>リトミック運動体験、体操教室及び演技会 (7月31日(火)、12月8日(土)実施)</p> <p>1 生徒が高齢者の方々と関わりながら、リトミック運動の指導を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>2 園児、小学生、中学生、演技参観の保護者への指導風景。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

3 生徒主体で指導を行うとともに、音楽に合わせて全体でリトミック運動にチャレンジし、世代間交流の場を設定した。



4 体験教室



6 主な成果

参加した全生徒が「高齢者との交流が深まった」と回答した。また、生徒の感想の中で、「年齢層の違う集団の中で、そのかわり方を考えるきっかけとなった」等の感想があり、この事業のねらいである誰もが互いに人格と個性を尊重し、支えあって共生する社会の実現に主体的に取り組もうとする意識や態度、地域創生への意欲を養えたことが成果である。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

高校生を中心に運動指導を行えるよう、前年まで取り組んできたシニア体操教室の振り返りや指導手順、安全確認の事前学習時間を設けた。高齢者から保育園児までの幅広い世代が一堂に会し、体操でつながる場を設定し、交流と気づきが生まれるよう心掛けた。さらに、コミュニケーションが相互に活力を生み出すことに着目し、高校生による運動指導だけでなく、日頃の部活動の成果を披露する演技発表を取り入れた。

8 主な課題等

全世代が楽しく、また安全にできる運動として昨年まで取り組んできたシニア体操を取り入れたが、運動量や強度に改善の余地がある。高齢者福祉施設への出前講座も計画していたが、日程調整できず、実施することができなかった。また、今年度は会場を保育所に設定したが、次年度は本校体育館でも実施できるように各方面への調整に力を入れたい。

9 来年度以降の実施予定

次年度も実施予定である。